

## ■質問

鋼管杭・杭頭接合部の検定方法を、教えてください。

## ■回答

鋼管杭・杭頭接合部の検定方法は、下記によります。

[ 短期曲げモーメントに対する検討 ]

鋼管径に 200mmを加えた仮想断面を設定し、杭頭の短期曲げモーメントと短期軸力に対して設計接合筋の許容曲げモーメントを算定し、比較検討する。

[ 接合部鉄筋の定着長の検討 ]

$$Ld1 = (rft \cdot ra) / (rfb \cdot \phi)$$

$$Ld2 = 40d (\text{最小長さ})$$

Ld1: 鉄筋とコンクリートの許容付着応力度から決まる定着長

Ld2: 必要定着長から決まる定着長

rft : 鉄筋許容引張応力度

ra : 鉄筋断面積

rfb : 鉄筋付着許容応力度

$\phi$  : 鉄筋周長

d : 鉄筋径

※ Ld1 と Ld2 のうち、大きい値以上を設計定着長Ldとする。

(参考図)

